

開催日:平成 25 年 6 月 26 日

橋下大阪市長に対し猛省と責任の自覚を促す決議

橋下大阪市長が、5月13日の大阪市役所での記者会見で、「慰安婦」制度は必要であったと発言したことに関して、国内はもとより、韓国、アメリカなど海外からも大きな怒りと批判を呼び起こしている。

橋下市長は、沖縄に駐留する米軍海兵隊司令官に風俗業を活用すべきだと発言したことも明らかにし、その後、発言は取り消し、謝罪したものの、幾重にも女性の人権と人間の尊厳を踏みにじる発言を繰り返している。

橋下市長が「慰安婦」必要論に固執し続けることは、人権を踏みにじられ、一生を台なしにされた方たちを深く傷つけるものであり、同時に基本的人権を尊重する日本の品格をおとしめることになる。このことは、アジア諸国と日本の友好を大きく損ない、将来に重大な負の影響をもたらしかねない。

したがって、本市議会は、橋下市長に対し、今般の事案を猛省し、みずから政治的責任を自覚した言動をされることを強く求める。

以上、決議する。

平成25年6月26日

高槻市議会